

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ワイテック 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町曾田 3-7 4

(3) 業種

3113 自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 22 年度を基準年度とし、平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成 26 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2	6,053	5,569 8.0	6,199 (2.4)	6,817 (12.6)	6,267 (4.0)	7,229 (19.0)	100.0
非エネルギー 起源CO2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	6,053	5,569 8.0	6,199 (2.4)	6,817 (12.6)	6,267 (4.0)	7,229 (19.0)	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成26年度の納入台数は基準年に比較して減少し、使用電力量も減少しているが、換算係数の増大により目標を大きく超過する結果となってしまった。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 納入台数

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成 26 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2	0.007324	0.006738 8.0	0.007528 (2.8)	0.007642 (4.3)	0.007759 (5.9)	0.008517 (16.3)	100.0
非エネルギー 起源CO2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.007324	0.006738 8.0	0.007258 0.9	0.007642 (4.3)	0.007759 (5.9)	0.008517 (16.3)	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.002718	0.002501 8.0	0.002791 -2.7	0.002635 3.1	0.002961 -8.9	0.002891 -6.4	100.0
実績に対する 自己評価	原単位の基準となる納入台数に影響しない部所での使用電力量が全電力量の約10%を占めており、そのためになかなか原単位削減に結び付いてこない。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量原単位で 前年度比2%削減	LED照明設備の導入 水銀灯に代わる省電力照明の導入 照明器具の台数見直し 不要照明の消灯 冷暖房温度の適正管理
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	ISO14000 取得		全社でのISO14000への取組み実施
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。